



お江戸舟遊び 瓦版 1100号

水彩都市江東 こころ美しい日本の再生 安全・安心まちづくり
お江戸観光エコシティ・お江戸舟遊びの会 江東区千田 13-10

北砂まぜこぜマルシェ

日時：5月17日 11:00～14:00 所：ゆめ工房
はじめに

2027年に江東区北砂において、全ての人たちにとって安心できる居場所の開所を目指している。それに向けて、近隣の方々との相互交流の場づくりをはじめ、施設に必要な情報収集やネットワーク創りのため、毎月第3土曜日にマルシェが開催されている。6月は21日！

江東区内に広がる福祉施設と一般的な事業者をまぜこぜにしたマルシェで、特徴は障害者施設で働いている仲間が、全てのブースで様々な業務を出店者とともにに行うことにある。雨の中人びとが買い物の中で自然な形で、障害ある人と触れ合える機会を創り出している素敵なマルシェとなっている。

子ども食堂ならぬ誰もが食べられるユニバーサル食堂は沢山の人のびとの交流の場・安心できる居場所となっていた。災害列島化しつつある日本にとって人と人の交流こそ大切なものはない！！



食堂の受付さん



たい焼き・移動販売車



北砂アカデミア防災塾・荒川氾濫



リサイクルショップ



お買い得コーナー



エスプールのプラス



裏方は大忙し



まうまんま



リサイクル衣料

2025 憲法大集会

日 時： 5月3日 11:00~17:00

所： 東京臨海広域有明防災公園

主 催： 平和といのちと人権を！
5・3 憲法集会実行委員会

はじめに

日本国憲法施行 78 年の憲法記念日
5月3日 2025 憲法大集会が開かれた。
3万8千人の参加の大集会であった。

開会挨拶：菱山南帆子

- 平和を守り、軍事に頼らない政治
こそが真の人権保障で、憲法精神だ。

スピーチ

田中熙巳

(日本原水爆被害者団体協議会代表)

- 原爆の被害は脳裏に焼き付いている。
核兵器は絶対に使ってはならない。
ノーベル平和賞は予想していなかった。

- 戦後 80 年の今も、世界には 1 万発を超える核弾頭があり、4 千発は発射できる態勢にある。ロシアのウクライナ侵攻やイスラエルとイスラム組織ハマスとの軍事衝突など、核使用への懸念が深まっている。ノーベル賞は、核戦争を起こさせなかった日本被団協の役割を、今後も果たしてもらいたいという願いで、皆さんに私たちの努力を引き継いで、日本全体に広めて欲しいと語った。

リレートークでは、日本国際ボランティアセンターの若者が、「ガザでは食料がほとんどなくなり、生存の危機の深刻な状況にある。イスラエルの侵攻を止める運動を日本でも大きく盛り上げて欲しい」と訴えた。豊洲駅までのデモには、沢山の方々とともに、電動車いすの方たちや白杖を持つ人たちも参加し、誰でもが人間らしく生きることを訴えていた。



所感：まぜこぜマルシェと憲法大集会に参加した。災害大国日本、その代表とも言える荒川氾濫が「江東5区マイナス地域」に迫っている。自分事として準備せねばならない。（文責 中瀬）